

簿記・会計

簿記・会計

〔Ⅰ〕 以下の取引について仕訳せよ。

- (1) A商店は今年度の固定資産税120,000円を4期に分けて納付することとなっているが、本日、その第2期分を現金で納付した。
- (2) B商店はC商店に対して買掛金の支払いのために約束手形120,000円を振り出していたが、満期日までに資金の融通がつかなくなったため、支払期限の延長を申請し、C商店の承認を得たうえで、支払期限が延長された新手形を振り出し、旧手形と交換した。ただし、支払期限の延長のために10,000円の利息が発生したためこれは現金で支払った。
- (3) D商店は決算に際し、E商店に対する売上債権（受取手形と売掛金）の合計額1,300,000円に対して2%の貸し倒れを差額補充法により見積もった。なお、決算日におけるD商店の貸倒引当金残高は20,000円（貸方残高）であった。

〔Ⅱ〕 3伝票制による以下の2枚の伝票（略式）から取引を推定し、現金勘定、売掛金勘定、借入金勘定に転記せよ。

入金伝票 No.25	
202X年2月10日	
勘定科目	金額
売掛金	150,000

出金伝票 No.41	
202X年2月15日	
勘定科目	金額
借入金	100,000

〔Ⅲ〕 株式会社は会社の設立時や増資時に際していかなる会計処理を行うか説明せよ。